

東山遺跡第2次発掘調査の追加成果について

1. 調査名称 東山遺跡第2次発掘調査
2. 調査地 滋賀県甲賀市信楽町黄瀬
3. 調査面積 約 830 m²（うち、拡張部分の面積約 160 m²）
4. 調査期間 平成 29 年 10 月 26 日～平成 30 年 3 月末
うち、拡張部の調査 平成 30 年 1 月～2 月
5. 拡張範囲 前回報告した調査区の北側と南側に拡張区を設定
北側拡張区 東西 10m×南北 10m 面積 100 m²
南側拡張区 東西 12m×南北 6m 面積 60 m²

6. 検出遺構

【大型建物1】

前回報告した大型掘立柱建物の柱掘方を、北側拡張区で3間分、南側拡張区で2間分確認しました。しかし、北・南拡張区ともに妻柱を確認することができず、大型建物の南北方向の規模を確定するには至りませんでした。大型建物は北と南へさらに伸びます。拡張区の追加調査で、建物の規模は東西4間（約 15.3m）×南北14間（約 42m）以上であることが判明しました。

なお、建物の規模が確定できない上、遺物についても引き続き、まったく出土しないため、大型建物1の性格については、現段階で確定することはできませんでした。

7. 新たに見つかった柱根

これまで史跡紫香楽宮跡（宮殿跡 宮町地区）を中心に掘立柱の柱根が出土していますが、平成 29 年 12 月 23 日に開催した現地説明会の後、新たに1本の柱根が見つかりました。直径約 50 cm、長さ約 1 mの大きな柱根です。ただし、これは発掘調査に伴って見つかったものでなく、調査地の北側に位置する工場の建設工事の際に出土したものを地元の方が保管されていたものでした。

その後、光谷拓実氏に年輪年代測定を依頼し、次のような結果を得ることができました。

- ・柱の樹種：ヒノキ
- ・測定できた年輪数：167 本
- ・導き出された年輪年代：西暦 542 年 + α

樹皮に近い部分が残っていなかったため、正確な伐採年代の特定には至りませんでした。少なくとも 500 年代半ば～600 年頃に伐採された木材であることが推定されました。これまでに紫香楽宮関連遺跡で出土した柱根のうち、11 本で年輪年代測定を行っていますが、そのうち4本の柱根が 500 年代半ば前後に伐採されたことが分かっており、今回見つかった柱根の年代もそれらと同様です。

年輪年代の測定結果から、紫香楽宮関連遺跡で出土する柱根の伐採年代が、紫香楽宮の造営される天平14年(742)～同17年(745)に伐採された一群と、500年代半ば～600年前後の間に伐採された一群があることが分かります。前者は紫香楽宮の造営に際して伐採された木材ですが、後者はどこからか転用された柱であると考えられます。ただし、どこから転用されたのかは不明です。

8. 今後の調査予定(次年度の調査)

今回の調査地の北側には工場があり、地形も大きく削平を受けています。また、南側については、土地所有者が異なるため、現段階ですぐに調査を行うことは難しいです。そのため、大型建物1の南北規模を確定することはできない状況です。

そこで、平成30年度は、大型建物1と対になる建物の存否を確認するために、史跡紫香楽宮跡(宮殿跡宮町地区と同じような「コの字型配置」を想定して、今回の調査地から西側に向かって遺構確認調査を実施します。現段階では平成30年5月から調査を開始し、3ヶ月程度を予定しています。この調査で遺構の広がりを確認したいと考えています。

また、新たに見つかった柱根に関する聞き取り調査なども併せて実施していく予定です。

9. まとめ

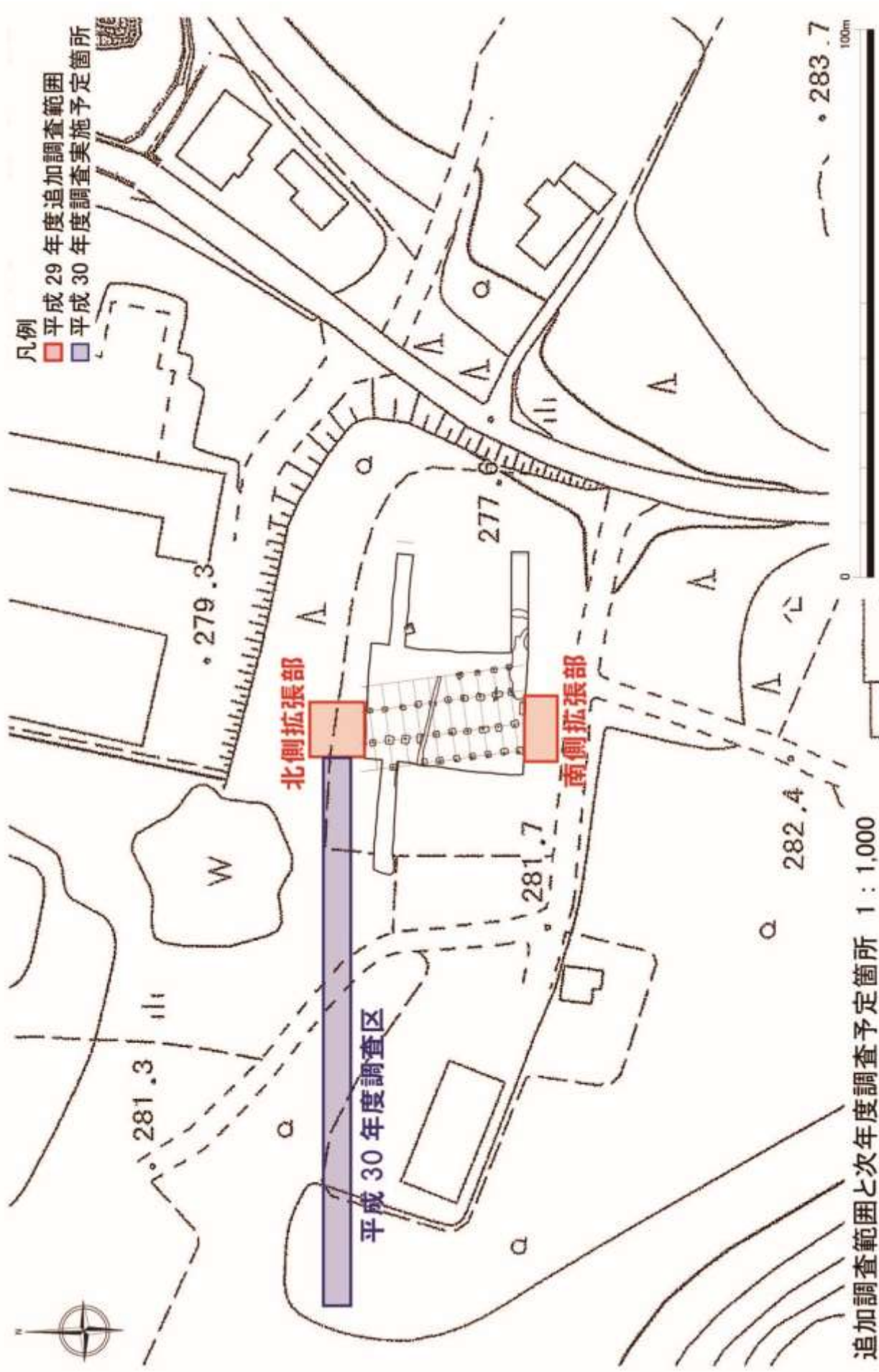
①大型建物1の南北規模は14間(約42m)以上となるが、現段階では建物の南北規模は確定できなかった。

②調査地周辺でかつて見つかった柱根は、年輪年代測定の結果、500年代半ば～600年頃に伐採された。

③平成30年度は、「コの字型配置」を想定しつつ、西側へ調査区を延長して、遺構の広がりを確認していく。

表1 宮町地区で出土した柱根等の年輪年代測定結果一覧表

No.	試料形状	調査回数	出土遺構	樹種	計測年輪数	最外年輪測定年代	備考
1	柱根	—	圃場整備	ヒノキ	245	743	樹皮付
2	柱根	—	圃場整備	ヒノキ	318	562	
3	柱根	—	圃場整備	ヒノキ	240	530	
4	柱根	—	圃場整備	ヒノキ	136	533	
5	柱根	S58年度		ヒノキ	60	測定不能	
6	柱根	6	SX0613	ヒノキ	187	743	樹皮付
7	柱根	6	SX0614	ヒノキ	153	561	
8	角材	6	遺構面	ヒノキ	86	711	
9	柱根	7	SA0708P1	ヒノキ	194	742	樹皮付
10	柱根	7	SA0709P4	ヒノキ	166	743	樹皮付
11	柱根	7	SA0709P3	ヒノキ	337	741	



凡例

■平成29年度追加調査範囲

■平成30年度調査実施予定箇所

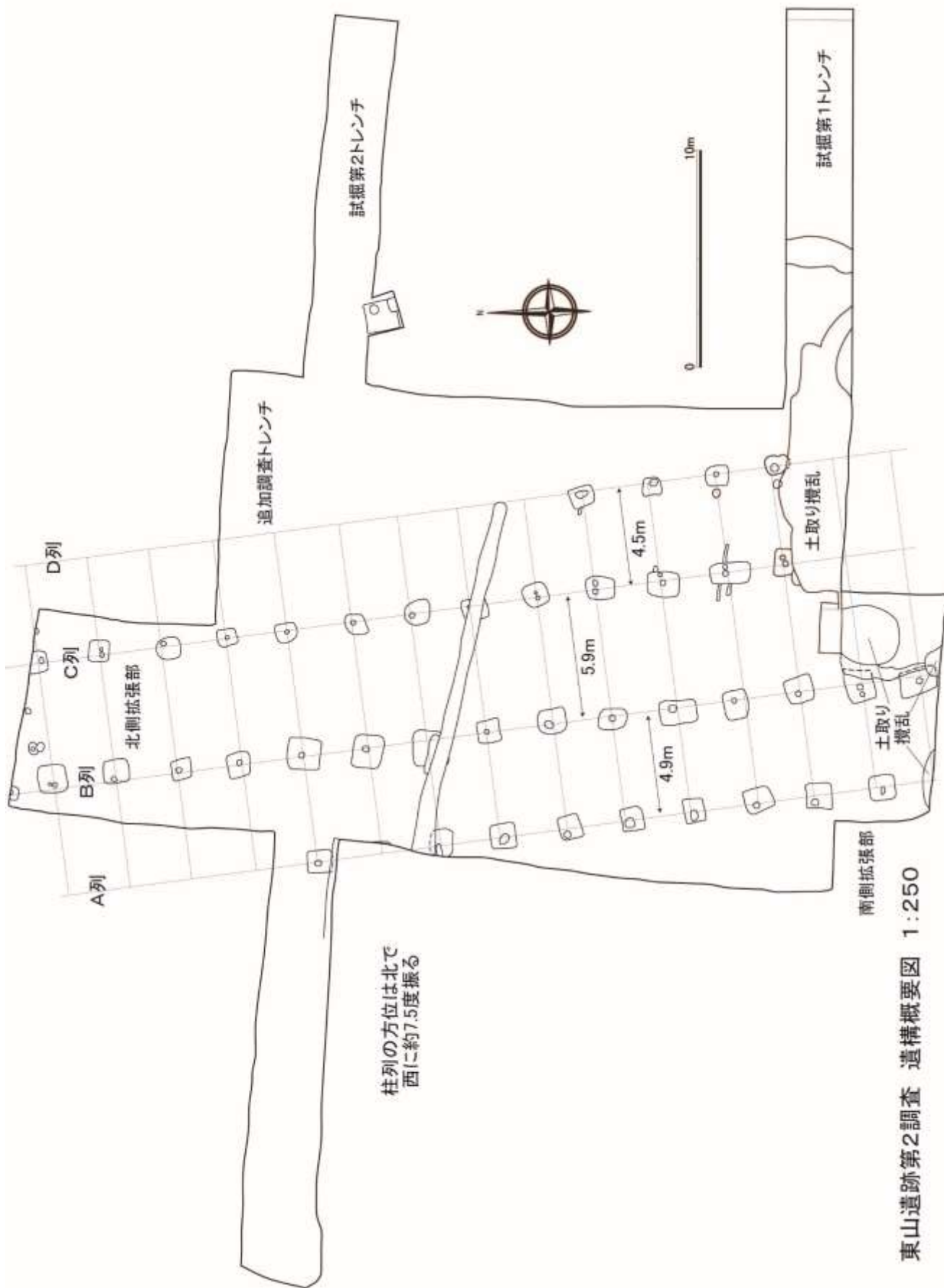
北側拡張部

南側拡張部

平成30年度調査区

追加調査範囲と次年度調査予定箇所 1 : 1,000

100m



東山遺跡第2調査 遺構概要図 1:250



写真1 調査区全景（垂直 拡張前）



写真2 調査区全景（垂直 拡張後）



写真3 拡張後全景（北から）



写真4 南拡張部全景（西から）



写真5 北側隣接地の工場建設時に見つかった柱根